

心の健康と大切な命を守る

**店頭でキャンペーン実施**  
 9月23日、傾聴ボランティア「えくぼの会」の会員と仙北市職員が自殺予防の呼びかけを行いました。この取り組みは「9月10日世界自殺予防デー」、9月10日から16日の自殺予防週間になんで行われたものです。  
 当日はタカヤナギワンダーモール店、ビブレ田沢湖店、よねや角館店の協力をいただき、店頭で「おとうちゃん眠れていい？」と印字されたトイレットペーパーやパンフレットを買い、お客に配布しながら、心の健康と自殺予防を呼びかけました。



店頭で買い物客にパンフレットなどを手渡し、自殺予防を呼びかけました。

ふるさとあきたラン！大館大会

たくさんの方の応援に感謝

10月2日、大館市の大館樹海ドームをメイン会場に大館市の特設コース（9区間31・5キロ）を走る「第3回秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン！大館大会」が開催されました。  
 この大会は、県内全市町村が一堂に会し、市町村の代表選手によるチームで競い合うもので、今年で3回目の開催となりました。仙北市選抜チームは、総合第16位（出場34チーム）、市の部



仙北市の選抜メンバー。チーム一丸でたすきをつなげました。

門で第13位（出場21チーム）の成績（1時間53分14秒）を収めることができました。

自慢の歌声を堂々と披露  
 第31回生保内節全国大会



一般の部で最優秀賞に輝いた太田ななこさん。



年少者の部で最優秀賞に輝いた佐々木深里さん。

9月24日・25日の両日、「第31回生保内節全国大会」が仙北市民会館で行われました。一般の部には136人がエントリーし、24日の予選、25日の準決勝を経て10人が決勝に進みました。  
 その結果、最優秀賞に太田ななこさん（鹿角市）が輝きました。太田さんは現在高校1年生。6歳から民謡を習い始め、各地の大会に出場してきたそうです。  
 太田さんは「高校生で民謡を歌う人は少ないので、これからもしっかりと学んで民謡のすばらしさを広めていきたい」と受賞の喜びを話しました。  
 また、年少者の部（中学生以下）の最

優秀賞には岩手県から出場した佐々木深里さん（紫波一中2年）が選ばれました。他の入賞者は次のとおりです。《敬称略》

- 【一般の部】  
 優秀賞：▽地主和希（仙北市）▽佐藤まゆみ（大館市）▽近藤みつ子（仙北市）  
 ▽高橋真理香（男鹿市）▽敢闘賞：▽中村清治（美郷町）▽高橋チサ子（男鹿市）▽高橋貞子（大仙市）▽田村和子（仙北市）▽半戸加代子（名古屋屋市）  
 【年少者の部】  
 優秀賞：▽田口亜澄（潟上市）▽谷川未采（八郎潟町）▽坂本希晏（仙北市）

100キロチャレンジマラソン

過酷な道のりに挑戦

9月25日、角館町から北秋田市鷹巣までを走破する「2016北緯40度秋田内陸リゾートカップ100キロチャレンジマラソン」が開催されました。  
 今年は100キロの部に県内外から1047人がエントリー。角館交流センターを午前4時30分にスタートしました。また、331人がエントリーした50キロの部は、北秋田市阿仁農村環境改善センター近くを10時30分に



暗闇の中、ランナーたちはスタート。ゴールの鷹巣を目指して力走しました。

スタートし、北秋田市鷹巣のゴールを目指しました。沿道の住民からは力走するランナーたちに、温かい声援が送られていました。

秋田県学校関係緑化コンクール

神代小が東北森林管理局長賞

9月7日、平成28年度秋田県学校関係緑化コンクールの学校環境緑化部門で、神代小学校が東北森林管理局長賞を受賞しました。このコンクールは、樹木等を活用して緑化教育に取り組む学校を対象に実施されるもので、学校環境、花壇・菜園活動、緑化教育等の様子が総合的に審査されます。  
 今回の受賞を受けて井上一彦校長は「花のいのちを育む学園



「花のいのちを育む学園」として長年にわたる活動を行ってきた神代小学校。

らしい教育環境を整え、豊かな心を育む教育活動を計画的に実施してきた成果が認められてうれしく思う」と話しました。

田沢湖再生へ心強いパートナー  
 仙北市と大曲農業高校が連携協定

9月21日、仙北市と大曲農業高校は、双方の人材や資源を活用し、農業振興や環境教育の充実に取り組む連携協定を締結しました。この協定の期間は平成29年3月まで、1年ごとに更新されます。  
 同校で行われた締結式には、門脇光浩市長と伊東金一校長、立会人の青柳宗五郎市議会議長が出席し、協定書に調印しました。



連携協定締結式で調印後、がっちり握手を交わす門脇光浩市長と伊東金一校長、立会人の青柳宗五郎市議会議長（右から順に）。

仙北市は県とともに、クニマス の里帰りを目指した田沢湖再生に向けた取り組みを進めていて、門脇市長は大曲農業高校が5年前から田沢湖の水質改善の研究を行っていることを踏まえ「大曲農業高校は田沢湖再生に欠かせないパートナーと認識している。地域づくりや人材育成の力になっていただきたい」とあいさつしました。

大曲農業高校は、専門的な技術を持った職業人の育成を目指す文部科学省のスーパードプロフェッショナルハイスクール（SPH）に県内で初めて選ばれていて、伊東校長は「お互いの長所を生かし、SPHの事業を充実、発展させていきたい」とあいさつしました。  
 今年は大曲農業高校と松木内小、生保内小が連携し、酸性水を電気分解して生成した中和水でメダカの飼育実験や仙北市産業祭で同校の活動紹介パネル展の実施などを行います。

文武両道で好成績収める

神代中学校の生徒が全国大会へ出場

9月3日、「第47回ジュニアオリンピック陸上競技大会秋田県選考会」が鹿角市総合運動公園陸上競技場で開催され、神代中学校3年の樋口優輝君が共通男子ジャベリックスローの部で優勝しました。この種目は、やり投げの小中学生版で、樋口君は53m05という記録で、2位に9m近く差をつけて圧勝しました。昨年度も神代中学校の生徒がこの種目で優勝し、2連覇を達成しました。

樋口君は、10月に神奈川県横浜市で開催される「ジュニアオリンピック陸上競技大会」に向けて「全国大会では、もう一度助走やフォームを見直し、60mの記録を目標に、上位入賞を果たしたい」と抱負を述べました。



左から神代中学校の小林高太郎校長、小松満教諭、樋口優輝君、熊谷徹教育長

9月15日、秋田県生涯学習センターで「高円宮杯第68回全日本英語弁論大会秋田県予選」が開催され、神代中学校3年の佐藤愛海さんが弁論の部で優勝しました。佐藤さんが発表したのは、素直に「ありがとう」が言えなかったり、思わず反発してしまう家族や周りの方々に、この機会を借りて感謝の気持ちを伝えるという内容です。

佐藤さんは発音や抑揚、表現力などがすばらしく、県内各地区の代表13人を抑えて優勝しました。今後、11月に東京で開催される「高円宮杯全日本中学校英語弁論大会」に向けて「自分を支えてくれているたくさんの方々への感謝の気持ちを込めて堂々と発表したい」と抱負を述べました。



左から神代中学校の齋藤まさ子教諭、小林高太郎校長、佐藤愛海さん、熊谷徹教育長

まちづくり日記

No.107

『皆さん力をお貸しください』

仙北市長 門脇 光浩

今号のまちづくり日記、できるだけ多くの市民の皆さん、できれば子どもたちにもお読みいただきたいと思えます。

庁舎の在り方については、3町村合併時は様々な状況があり、法的には変則でしたが、3町村の庁舎を並列し分庁舎方式で仙北市はスタートしました。その後、市民委員等で構成した検討委員会、市民アンケート調査など、様々な場面をつくり、10年間の意見を集約して、昨年6月「基本構想」をまとめました。この構想は、統合庁舎は角館病院の管理棟を活用して一部を増築する、一番お金がかからない案でした。また田沢湖庁舎は行政事務とスポーツ・健康拠点として、西木庁舎は行政事務と中央公民館・都市農村交流拠点として再整備し、他の支所も同様に残す内容でした。

この市案を集中審査するため、議会は特別委員会を設置しました。議論の結果、同委員会は角館病院跡地案を修正し、統合庁舎は角館駅前が適切として、今年1月の臨時議会本会議で、市民に向け報告しました。市はこれを尊重し、財源に含併特別債が使えるよう3月の定例議会で

「新市建設計画の変更」を提案、これを議会は全会一致で可決しました。さらに7月の臨時議会では、駅前用地の取得予算案を可決しました。しかし先の9月議会で、統合庁舎の位置に関する条例案を否決しました。議会案を議会が自ら否定した結果で、これは理解できません。

10月7日、議長が議会全員協議会を招集し、事後対策を協議しました。一部議員からは、特別委員会が検討して、その時点で消去された位置の再提案や分庁舎方式を継続する発言がありました。統合庁舎への熱意も、未来のまちづくりビジョンも、残念ながら感じられませんでした。私は「このまま終わっていいんですか」と議員に問いかけました。その思いを綴った私のブログに、毎日皆さんから励ましとお叱りをいただいています。県には、この12月まで扉を閉めないで欲しいとお願ひし、大丈夫、諦めないで」と激励の言葉を頂戴しました。

場所はどこもかく、統合庁舎を断念したら、迷惑を被るのは皆さん市民です。お恥かしい限りですが、皆さん、ギリギリまで取り組む力をお貸しください。

「風呂おけ」載せて周遊開始



新装した乳頭温泉郷乗り合いバス「湯めぐり号」

仙北市の乳頭温泉郷の温泉宿を周遊するバス「湯めぐり号」が一新され、関係者約50人を前に、9月30日に休暇村駐車場でお披露目されました。

除幕式では倉橋典夫副市長が「この斬新なりニューアルで湯めぐり号の乗車人員の増加と仙北市乳頭をはじめ秋田

県全体の観光発展を願っている」と祝辞を述べました。

デザインは「このバスに乗ってみたい、写真を撮りたい」をコンセプトに乳頭温泉郷の女将さんたちが考案。バスの上に「風呂おけ」設置のアイデアやバナの森をイメージした緑の車体に温泉宿の四季を施し、窓には乳頭山の遠景を使用。ナンバーも温泉郷にちなんで「1126(いいふろ)」に変更するなど、随所にこだわりがあります。

新湯めぐり号は10月1日より運行し各宿を1日5往復します。宿泊者対象の乳頭温泉郷7つの湯宿を日帰りできる「湯めぐり帖」(1800円)、日帰り客も購入できる乳頭温泉郷地図「湯めぐりマップ」(600円)を購入すると、特典で「湯めぐり号」に乗車することができます。お問い合わせは乳頭温泉組合事務局【☎(46)2244】まで。

お気軽にご利用できます  
ピアノを弾いて  
みませんか？

田沢交流センターの生涯学習室には、KAWAII製のライトアップ型ピアノ(写真)が設置されています。このピアノは、田沢湖公民館から依頼された専門の調律師が調整し、状態も万全です。ピアノを習っているお子さんやピアノを弾いてみたい方など、どなたでもご利用できます。お問い合わせは、田沢出張所【☎(43)1351】まで。



かくのだてフィルムコミッション  
ロケーションだより  
Kakunodate Film Commission

かくのだてフィルムコミッション  
(仙北市観光課内) ☎43-3352  
<http://kakunodate-fc.jp/>

今回は、普段のロケ支援から離れたところのお話をさせていただきます。仙北市は、地方創生特区に認定されており、ドローンによる実証実験等により、その可能性も広がってきております。先頃、「仙北市近未来技術を活用した新たな産業づくり支援協議会」が発足されました。

松竹の時代劇映画「たそがれ清兵衛」は、武家屋敷通りで大型クレーン車を使用して武家屋敷を上空から見下ろすような撮影が行われましたが、これからはこのようなシーンもドローンを使った空撮に置き換わる時代が来るかもしれません。また、自分たちで様々なアングルを組み合わせてこれまでと

ちょっと違った仙北市を紹介することも可能ですね。しかしそのためには、ドローンによる空撮に関する新たなルールを整備する必要がありますと思われる。ドローンを活用し、地域を発展させるためにも、市民の皆さまからたくさんのアイデアやご意見をいただき、新しいチャレンジができればと思います。

これからも、地域の皆さまとともに進んでいきたいと思っていますのでよろしくお願ひいたします。  
(会長 坂本洋)



クレーン車による武家屋敷での撮影